

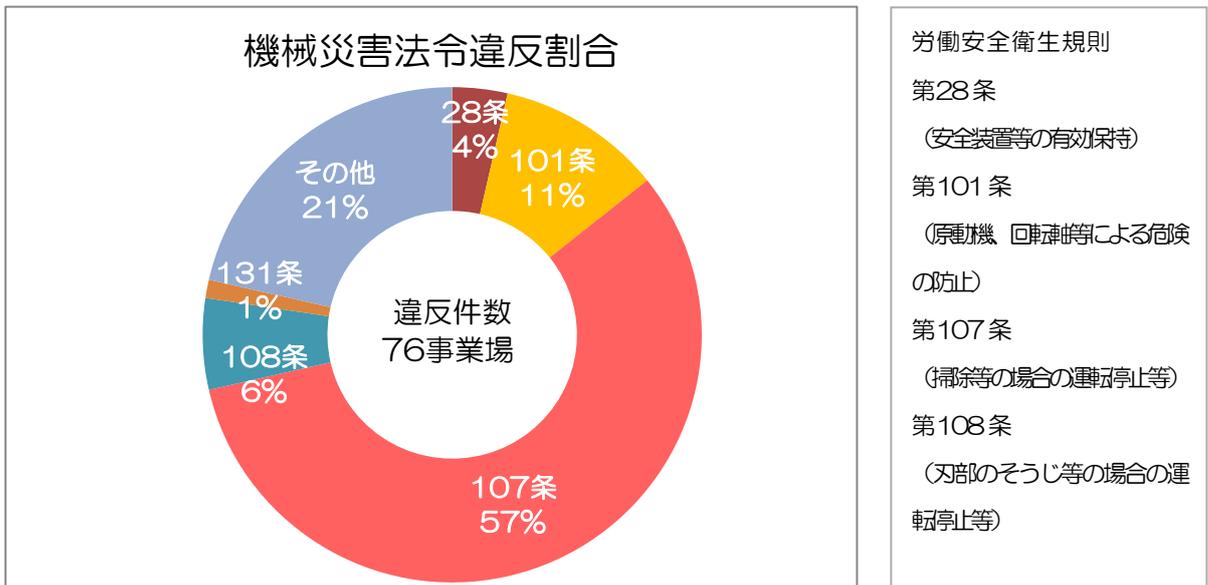
平成 29 年度三重労働局機械災害防止対策結果

出資：機械災害調査付表

1 法令違反条文別

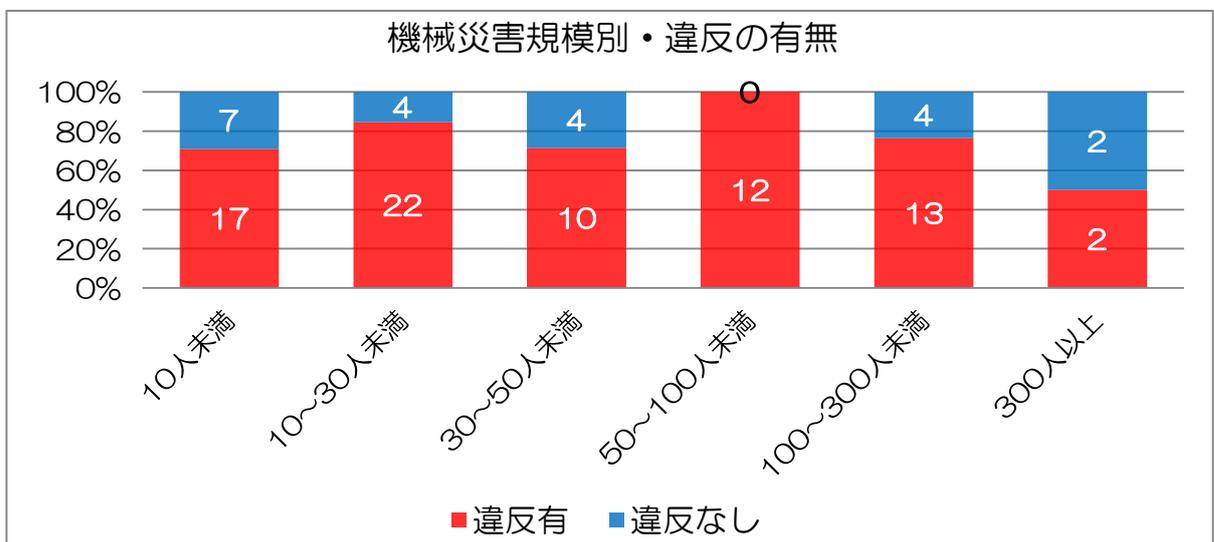
機械災害発生事業場に対する個別指導、災害時監督等を実施した 97 事業場のうち、76 事業場において法令違反が認められた。

法令違反の約 6 割が労働安全衛生規則 107 条（掃除等の場合の運転停止等）違反であった。



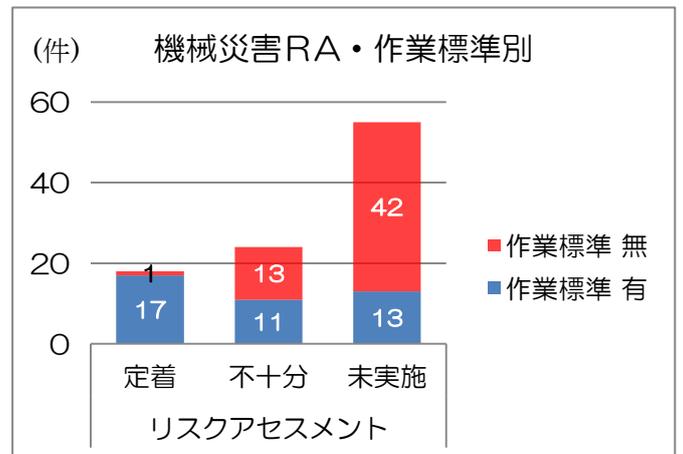
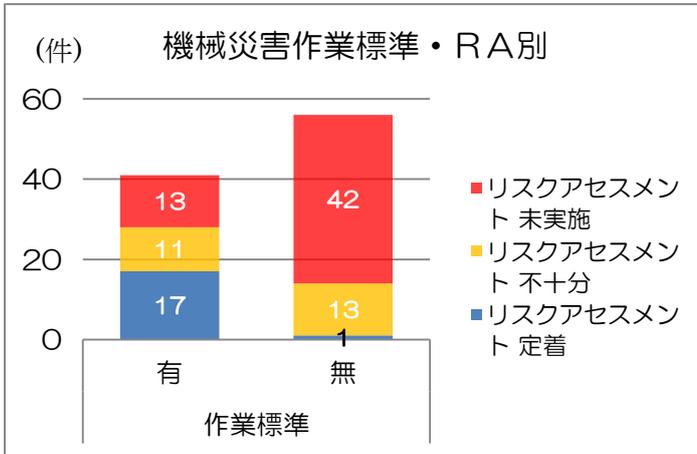
2 法令違反の有無、事業場規模別

全ての規模の事業場で法令違反率は高く、50人以上100人未満では100%法令違反となっている。



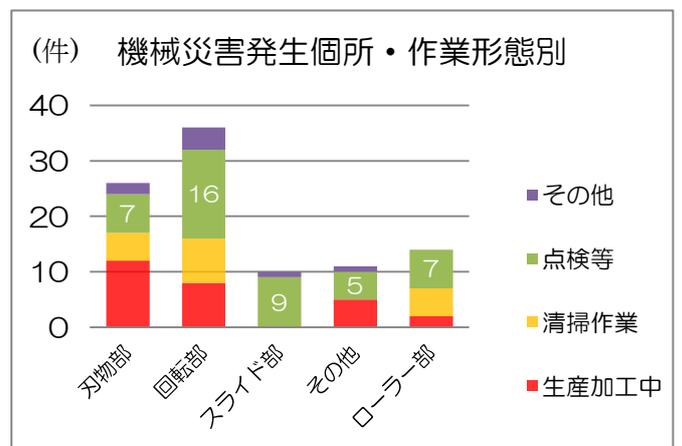
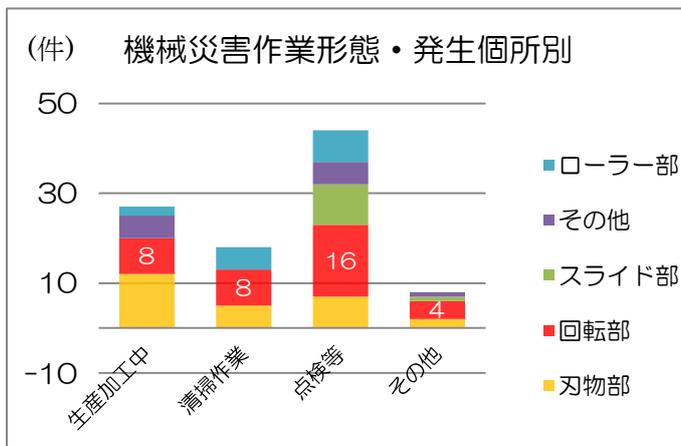
3 作業標準の有無、リスクアセスメントの実施状況別

機械災害が発生した事業場においては、リスクアセスメントの実施が低調であり、約60%の事業場において作業標準が作成されていない。



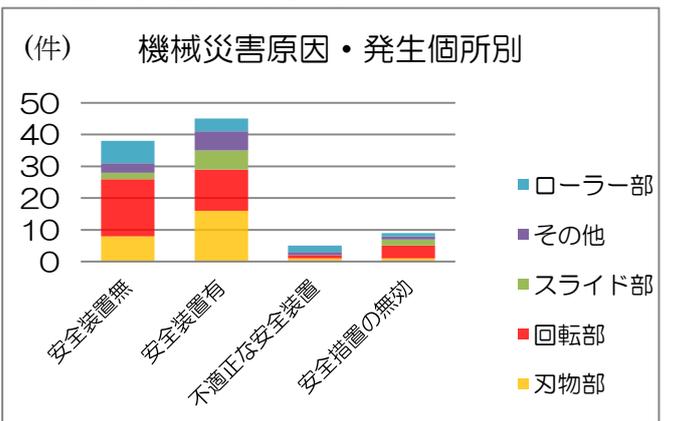
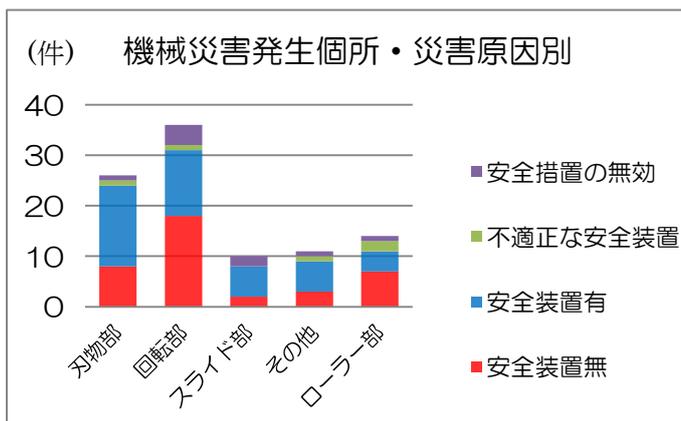
4 作業形態、発生箇所別

作業形態別では、点検作業中の災害が半数近くを占めている。
発生箇所別では、刃物部が27%、回転部が37%を占めている。



5 発生箇所、災害原因別

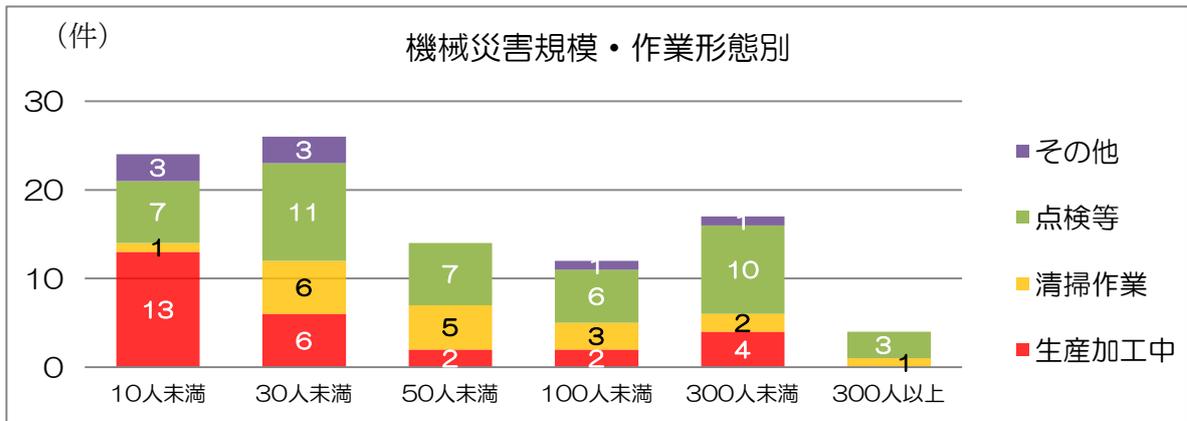
「安全装置無し・不適正な安全装置・安全装置の無効」の安全装置の問題が全体の半数以上を占めている。刃物部は比較的安全装置の設置率が高い。



6 事業場規模、作業形態別

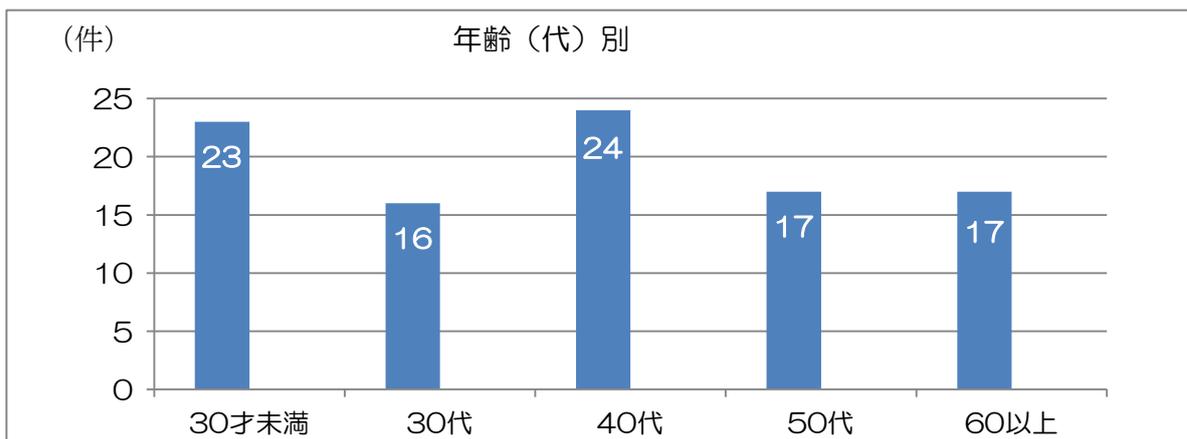
小規模事業場ほど生産加工中の災害が多い。

100人以上では、清掃作業、点検等の災害が多くなっている。



7 年齢別

30才未満、40才代が多数を占めている。



8 年齢、経験年数別

50才未満では比較的経験の浅い5年未満が70%近くを占めている。

50才以上では経験年数がさまざまであるが、5年から20年が40%を超え、比較的多くなっている。

